

## 和歌山県の魅力

自分時間が充実、理想のワークライフバランス!

### 1. 充実した暮らし

都会と比べて、和歌山県は物価も家賃も安いので、趣味や遊びに使えるお金が充実します。若い時から、自由に使えるお金で、プライベート時間を充実させませんか?

|              | 和歌山      | 全国       | 東京       | 大阪       |
|--------------|----------|----------|----------|----------|
| ①大学卒初任給      | 223,600円 | 225,400円 | 230,600円 | 227,600円 |
| ②25~29歳の平均月給 | 239,100円 | 231,110円 | 265,200円 | 258,400円 |
| ③家賃平均月額      | 41,094円  | 55,609円  | 80,918円  | 55,614円  |
| ④消費者物価地域差指数  | 99.4     | 100.0    | 104.5    | 99.8     |

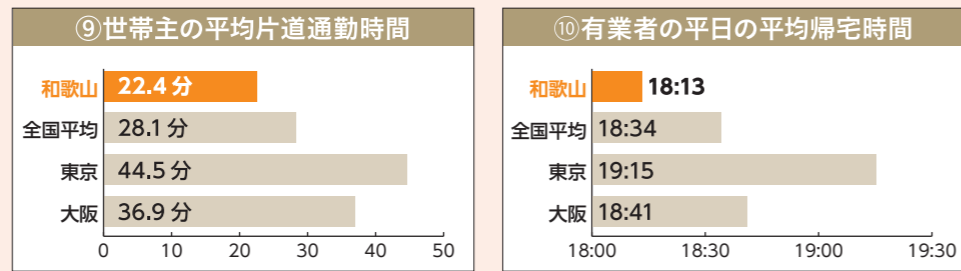
### 2. マイホームのある暮らし

和歌山県では、比較的安価で大きい家を建てることができます。大きな家でゆったりとした生活を過ごす人生を考えてみませんか?

|               | 和歌山     | 全国      | 東京       | 大阪       |
|---------------|---------|---------|----------|----------|
| ⑤1㎡あたり住宅地平均価格 | 35,700円 | 53,372円 | 389,100円 | 152,200円 |
| ⑥土地付住宅建築費     | 3,972万円 | 4,456万円 | 6,105万円  | 4,881万円  |
| ⑦持ち家の延べ面積     | 124.4㎡  | 119.9㎡  | 93.3㎡    | 101.8㎡   |
| ⑧持ち家比率        | 73.0%   | 61.2%   | 45.0%    | 54.7%    |

### 3. 自分時間のある暮らし

和歌山県では、通勤時間が短く、帰宅時間も早いので、自分や家族との時間を多く持つことができます。早く帰ってワークライフバランスを充実させませんか?



出典 ①②R3賃金構造基本統計調査【企業規模10人以上・所定内給与額】(厚生労働省) ③⑦⑧⑨H30住宅・土地統計調査(総務省統計局) ④R3小売物価統計調査(総務省統計局) ⑤R4都道府県地価調査(国土交通省) ⑥R3フラット35利用者調査(住宅金融支援機構) ⑩R3社会生活基本調査(総務省統計局)



## 和歌山県職員採用情報



公式SNSでも情報発信中

採用説明会の開催情報、職種紹介などの情報をタイムリーにお届けします。



Facebook



X(旧Twitter)



Instagram

上記QRコードより最新の情報を確認いただけます。試験案内、申し込み方法、仕事内容の詳しい紹介、先輩職員のインタビューなど、情報が盛り沢山なので、ぜひチェックしてください。

問い合わせ先 和歌山県人事委員会事務局 TEL 073-441-3763 FAX 073-433-4085



## 県庁職場ガイド

和歌山県庁に訪問し、現役の県職員と直接お話いただくことができます。県の施策、仕事の魅力などをお伝えし、皆さんの県の仕事などに関する疑問や質問にもお答えします。

**申込方法** 上記QRコードよりお申し込みください。

**対象者** 和歌山県職員をめざしている方

**受付期間** 随時受け付けています。

**訪問日時** 申込み受付後、日程調整の上、メール等により連絡します。(土・日・祝日及び12/29~1/3を除く)

問い合わせ先

和歌山県総務部 人事課 人材育成班  
TEL 073-441-2138 FAX 073-422-9312  
✉ e0102001@pref.wakayama.lg.jp



## 和歌山県職員の職種ガイド

和歌山が最高!だと子どもたちが思う未来を!

# # 社会福祉職

あなたが和歌山県の未来をつくり、和歌山県はあなたの未来をささえる。



人を。社会を。繋ぐ仲間を募集します。

Wakayama prefecture employee job type guide

Wakayama is the best



# # 社会福祉職

社会福祉職は子供、障害者、高齢者などに関する福祉分野において、その専門性を生かし、対人援助業務を行います。また、本庁の子ども未来課、障害福祉課などにおいて、福祉政策に係る企画立案や事業推進業務に従事することもあります。

主な職場における業務は次のとおりです。

【児童相談所】児童福祉司として子供に関する様々な相談に応じます。また、一時保護した子供の生活全般にわたる支援を行います。

【児童自立支援施設】児童自立支援専門員または児童生活支援員として、非行や家庭環境上の理由などにより入所している子供に対し生活指導や作業指導などを実施し、自立にむけた支援を行います。

【障害者更生相談所】障害に係る様々な相談に応じるとともに、身体障害者手帳、療育手帳の交付や補装具、更生医療に係る判定業務などを行います。

【女性相談支援センター】主にDVや性暴力被害者からの相談に応じ、自立に向けた支援を行います。

【各振興局健康福祉部】主に生活保護を必要とする方の相談援助を行います。

## キャリアパスモデル

主な役割 ※当モデルはあくまで一例です

- 22歳 福祉主事 児童相談所や児童自立支援施設などの出先機関を3～5年程度で異動
- 30歳 副主査 各分野に必要な知識、技術を担当業務に生かす。適性に応じ、本庁勤務も経験。
- 36歳 主査 実務の中心的役割を担う
- 43歳 主任 出先機関の係長として、係内業務のマネジメントや後輩の育成に努める
- 50歳 課長 出先機関の課長として、課の目標・成果の設定、職場環境づくりなどを行う
- 56歳 所長 出先機関の所長として、マネジメント、所員の評価、職場環境づくり等を行う

## 「子供の未来を支える」

社会福祉職が一番多く配属されているのは児童相談所です。

中央児童相談所(和歌山市内)、紀南児童相談所(田辺市内)、紀南児童相談所新宮分室(新宮市内)の3か所があり、社会福祉職は児童福祉司として勤務しています。

児童福祉司は、虐待や非行、性格行動など、子供に関する様々な相談に対応するため、子供や保護者と面談したり、家庭訪問を行ったり、市町村や学校、警察などの関係機関と連携しながらケースワークを行っています。

児童福祉司は子供たちの未来を支える重要な役割を担っています。時に困難な場面に直面することもあります。児童相談所に配属されている他の職種(弁護士、保健師、児童心理司など)の職員と連携したチームとなって子供たちのために尽力することができることは児童福祉司にとって大きなやりがいの一つです。



子ども・女性・障害者相談センター

**林 理佐子** 福祉主事

令和元年度採用

### これまでの経歴

- R1～R2年度 仙溪学園
- R3年度 子ども・女性・障害者相談センター 子ども相談第一課
- R4年度～ 子ども・女性・障害者相談センター 子ども相談第二課

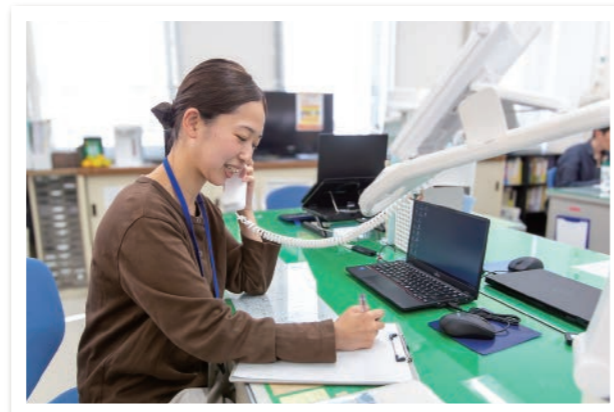
### 🕒1日の流れ

| 9:00                | 10:00         | 12:00  | 13:00    | 14:00          | 17:30               | 19:00 |
|---------------------|---------------|--------|----------|----------------|---------------------|-------|
| 出勤                  | 職場で作業         | 昼休憩    | 職場で会議    | 現場へ移動          | 職場で作業               | 退勤    |
| ・関係機関(学校や市町村)への電話連絡 | ・通所面接、面接記録の入力 | ・職場で昼食 | ・所内会議に出席 | ・家庭訪問<br>・施設訪問 | ・面接記録の入力<br>・会議資料作成 |       |

## WORK 担当した仕事の内容・魅力

入職1・2年目は児童自立支援施設仙溪学園に着任となりました。週に一回程度の夜勤・宿直勤務に慣れるまでは少し大変でしたが、食事や運動・学習・余暇などすべての時間を子供たちと共に過ごすことでしか味わえない喜びもたくさんありました。担当児童の成長を感じた時(例えば、感情表出が不得手な児童が施設生活の中で少しずつ自信を取り戻し、適切な形で大人を頼ってくれるようになったとき)が最もこの仕事にやりがいを感じた瞬間でした。

現在は、子ども・女性・障害者相談センターに勤務しています。児童虐待・非行・不登校など児童相談所で扱う家庭の課題は複雑なものが多いですが、行き詰ったときは経験豊かな上司や先輩職員からの確かなアドバイスがもらえますし、児童心理司・保健師などの専門職の助言も得ることができます。一人で抱え込む必要はなく、チームで検討しながら支えあって仕事ができるのがこの職場の魅力だと思います。



## LIFE 私のわかやまライフ

音楽鑑賞が趣味なので、月に一回を目標にライブ参戦しています。

予定がない休日は自宅でもったり読書したりYouTubeを見たりして過ごしています。平日はできないお昼寝タイムは至福のひと時です。



## メッセージ

学生時代を今振り返ると、様々な人と出会い、多様な価値観やバックグラウンドに触れることができたのはとても貴重な経験だったと感じます。社会福祉士で採用された方の大多数は「人」と関わる業務を主に担います。学生時代ならではの出会いを大切に、少しでも「人」に興味を持つてみることを意識してみるとよいかもしれません。

もう一つ。和歌山県はいわゆる「クルマ社会」です。自動車の運転免許は就職するまでに取得されておいたほうが後々便利だと思います。

